

【平成28年度 外国籍市民施策懇話会・通訳意見交換会合同会議 議事要旨】

日時 平成28年6月29日(水) 14:00～16:00
場所 市役所 東館3階 政策審議室
出席者 通訳…大山、鳴原、建部、井上、栗山、古屋、サントス
委員…高橋、阿曾、可児、石原、田中、小林、ウラヤマ
事務局…樋口課長、糸補佐、牧野
傍聴者 なし

【議題】第2次 多文化共生推進計画策定について

○策定案

《事務局》

- ・構成、策定手順、今後のスケジュール案について説明。
- ・現計画の施策体系(3分類)を継承する形で検討する。手順としては、懇話会での意見を反映し、計画内の文言や内容を修正していくことにより、新計画案を策定していく。

《意見交換》

- ・施策内容はあまり代わり映えしないものが続いているように感じる。また、計画に対する進捗が年3回程度の会議ではわかりにくい。
- ・計画はあくまでも計画なので、詳細なものを記載するのではなく、次期に向けて、現状とあまりにかけ離れているものは修正していけばよいと思う。
- ・スケジュール案について、日程調整が事前にあるか。
→懇話会は、あくまで所属や現場で感じておられることを基に、計画に対するご意見をいただく場として考えている。スケジュールについても、予定通りには進まない可能性もあるが、事前に日程調整やご案内はする予定。
→2016年度に策定の案ではあるが、2017年度に先送りする場合もあること、その場合は現計画を引き続き使用しながら新計画の策定業務を進めて行くことを考えている。

○子どもへの施策

《事務局》

- ・現計画の分類「子どもへの施策」について、各施策内容を説明。
- ・各施策に対する担当課での実施状況及び事業実績について説明。

《意見交換》

- ・**4**完全に子どもを対象として開設しているものではないので、実施とはならないのでは。
- ・**1**→多国籍化が進んでおり、すべての外国語に対応することや母国語保育士というのは難しいと感じる。
- ・**2**～**6**親の教育に対する意識が低く、進路の説明会を実施しても参加する人が少ないため、中1で初期指導をしてもらっても高校に入れられない外国籍の子が大半である。
- ・日本にいつまでいるかわからない、将来が見えないという中では、今日本語を習得するモチベーションが上がらない。
- ・進路に対する意識を高めるため、小学校高学年から進路の説明会をスタートした方がよい。

- ・親と子どもの関係を考え、親に対する支援もしっかりと行う必要がある、(子どもの自主性+親へのサポート)
- ・言語の対応だけでなく、進路を含めた子どもたちへの人生をサポートするような施策を考える、次の段階に入っているのでは。

○生活上の施策

《事務局》

- ・現計画の分類「生活上の施策」について、各施策内容を説明。
- ・各施策に対する担当課での実施状況及び事業実績について説明。

《意見交換》

- ・**12**市内施設の中で、公園や学校など行くべきところは自分たちでも確認するので、避難所など絶対に必要なところを対象にしてはどうか。(現在行っている交流バスツアーとセットでの実施でもよい)
- ・ツアーの行き先を、有名な防災関係の施設にしてはどうか。(震災の体験がないため)
- ・**13**市民に提供してもらい、ポルトガル語の本(現地のもの)を増やしてはどうか。図書館を利用しやすくなる。

○行政の施策

《事務局》

- ・現計画の分類「行政の施策」について、各施策内容を説明。
- ・各施策に対する担当課での実施状況及び事業実績について説明。

《意見交換》

- ・**17**国際交流協会(TIRA)の事務局の場所をわかりやすく表示してほしい。
- ・**18**未実施となっているが、今後実施の可能性があるとみてよいか。
- ・現在はほとんどの方がスマートフォンやナビを使用しているので、標識等は必要ないのでは。
→現計画策定時に実施すべきと考えたが現在その必要がないもの、やる努力をしていくべきもの、いろいろなパターンがあるので、それに応じ文言を修正したり削除・追加をしたり考えていく。
- ・**21**実施となっているのはTIRAにて実施しているものか。
→実施内容にある「国際交流フェスタ」「日帰りバスツアー」はTIRA実施事業。

【次回開催日程】

- *第2回目は、計画の修正案を検討する予定。(日程は事前に調整)